

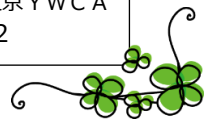
# NPO 法人東京 Y W C A 福祉会 通信

6号

2019 年 6 月

特定非営利活動法人東京 Y W C A 福祉会

<事務局>〒174-0043 板橋区坂下 1-34-25 公益財団法人東京 Y W C A  
板橋センター内 TEL03-5914-1854 FAX03-5914-1852



東京 Y W C A 福祉会通信 6 号では、2019 年 1 月～2019 年 6 月の事業活動についてご報告いたします。

## Y's コート ゆい 就労継続支援 B 型

発達障がい、知的障がいのある人々の「働く場」Y's コート ゆいでは、4 月に新たな利用者が 4 名加わりました。4 月 1 日はそれぞれ緊張しての入所式となりましたが、2 か月半が過ぎたこの頃はすっかり“ゆい”の雰囲気にも慣れたようです。

**「坂下ゆい商店」新製品登場!** 新人の皆さんの入所後の初作業は牛乳パックを千切ることでした。それは何になるのか? まさに、その紙片こそが『すいとるゾウ』の素になります。『すいとるゾウ』とは、「坂下ゆい商店」の新商品である天ぷら油の廃油処理パッドの事です。製造過程は、まず初めに中身を洗った状態の牛乳パック(飲料用紙パック)をリサイクルに出す時のように切り開き、底と注ぎ口の部分を切り取ります(この部分は使用しません)。さらに、縦に短冊状に切り分けたものを水の張ったバケツに約 7～10 日間浸して置き、十分に水を吸ったところで外側の商品名等と内側に施されている防水シートを剥がします。この、剥がし作業の良し悪しで良質のパルプの取れる量が決まります。ここから、いよいよ千切り作業になります。利用者全員で細かく千切った紙片をお茶用のパックに 13g ずつ詰めてやっと製品になります。これを 5 個入りで販売しています。

**3 回目のルバーブジャム作り** 今年も 15kg のルバーブが茨城県の佐々木さんから届き、皆でジャムを作りました。まず、利用者の皆でルバーブを丁寧に洗い、清潔な布巾で拭き、向きを揃えてざるに立てていきます。それを赤い部分と緑の部分とに分けて 1.5cm に切っていきます。銅鍋にルバーブとグラニュー糖を入れ、中火で 40 分ほど煮込み、最後に絞ったレモン汁を入れれば完成です。作業の合間に、入れる瓶の煮沸を行い、ジャムを入れた後、軽く蓋をし、もう一度煮沸消毒を行います。出来たてのジャムは利用者の皆で試食しました。今年のジャムは仕込みの際に、丁寧に緑と赤の部分に分けたので赤の瓶は苺ジャムのように赤く、ラズベリーの様な酸っぱさを感じます。緑の瓶はエメラルド色になり、ルバーブ本来の味がしました。食物繊維やカリウムが豊富で整腸作用があるとも言われている天然繊維 100%の手作りジャム、ぜひ一度ご賞味ください。



- ・パッド 1 個で 150ml の油を吸収します
- ・牛乳パックを再利用したもので安心して使用できます \*5 個入り 120 円



### 一般就労を希望する方への支援

昨年 8 月に 1 名の利用者を一般就労に送り出しました。その方は、利用開始時から、もう一度企業就労をしたいとの希望を持っていました。かつての企業で、高まる仕事の要求度に対し、押し潰されるように疲れ果てての再出発でした。ゆいでの 1 年目は、作業に黙々と取り組み力を蓄え、SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)の実践から会話量も徐々に増え、2 年目に入り再チャレンジができるようになり、思いの実現のために共に歩み出しました。ハローワークに同行し、数多くの求人票と一緒に検討しました。焦らず、一つひとつ納得した上で進めていき、区の就労支援機関との連携を取り、職場実習への同行や実習期間中に様子を確認するための訪問等を行いました。ご家族には都度、状況を伝え続け、連携を図りました。職場訪問の前や面接前には個別 SST を実施して自信を付けると共に、面接に同行し、良い面をアピールする等のサポートを行いました。そして、採用となりました。何よりご本人の持っていた“働きたい”という気持ちの灯を燃やし続けたことが結果に結び付いています。(施設長 大澤宏実)

# Y's ホーム ハイホー 共同生活援助（グループホーム）

身体障がい、発達障がい、知的障がいのある人々が暮らす

Y's ホーム ハイホーでは、20～30 歳代の男性 7 名が共同生活を送っています。



## ハイホーミーティングについて

ホームでの利用者の生活をよりよくする目的で開設当初より月一回行っています。

基本的には利用者の予定表を事前に確認し利用者が全員いる日にやることにしているので体調不良で参加できないこと等を除けば毎月利用者 7 名全員で参加という形でやっています。加えてその日の夜勤者 2 名と施設長が参加します。行う時間は夜ご飯を食べた後の 19:00 頃からです。議題としては月によって様々ですが、例を挙げるとすれば 2 か月に 1 度行っている防災訓練の内容についての説明、イベントについて何かやりたいイベントがないか案を募る、クリスマス会を行った後であればクリスマス会の感想をそれぞれにきいたり、年末年始であれば新年の抱負等もきいたりします。その他ホームでの生活のルールについて、例えば“トイレは使った後きれいにしましょう”等、身近な事も議題にあがります。

ミーティングを始めた当初はなかなか自発的な発言が難しく、集中して座ってられないということもありましたが、現在では利用者からの自発的な言葉が多く、他の利用者が発言する際にも集中して座ってその意見に耳を傾けるという姿も見受けられます。

最近では司会の役割も利用者の方から買って出るなんてこともありました。次は職員の同席なしで、利用者だけのミーティングがやりたいという声上がるほどで、どんどん主体的に変わってきています。

ハイホーミーティングという利用者同士で話し合いの場があるということでお互いにいい影響をあたえ成長につながっているのだと感じます。

（生活支援員 山本恭兵）

## Y's ホーム ハイホー 夜勤スタッフ募集！ ハイホーで暮らす 7 人の生活をサポートする仕事です。

仕事内容：入居者の生活支援

（車いす利用者の入浴、排せつ、移乗の介助、

朝食の準備（半調理品）・提供、朝の支度の手伝いなど）

勤務時間：16 時～翌 8 時（休憩 1 時間）

※休憩の他、交代で仮眠できます。

待遇：時給 985 円～

（22 時～翌 5 時は夜間割増賃金 1,231 円～）

<参考>1 勤務 16,251 円～

※学生可 ※週 1 回ならできる、という方も OK です。

※入居者がホームにいる時間は 2 名体制で支援に当たります。

※研修を丁寧に行いますので、初めての方も安心して働いて頂けます。

詳細は事務局までお問い合わせください。

TEL 03-5914-1854



月に 1 度、三輪ゆうこ先生を迎えてリビングで行っているアートワークショップの様子。希望する人が楽しむ時間です。テーマに沿って、思い思いに描いています。



## <2018 年度事業報告> 2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

| 事業名            | Y's コート ゆい                                                                                                                                                                                                                            | Y's ホーム ハイホー                                                                                                                                                   |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業内容           | 「カフェ JOY」の運営、受注作業、自主生産品の作成の作業を通して、就労に必要な支援を行った。また、利用者が就労や社会生活で必要となる技能を得ることを目的に、月に 1 度 SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)を行った。<br>高校卒業後、就労の機会に結びつくことが難しかった方を受け入れ、徐々に力をつけることができるよう支援したり、希望する方の求職活動及び就労先との連携を行い一般就労を実現したりする等、一人ひとりの個別のニーズに応じた支援を行った。 | 身体障がい、知的障がい、発達障がいのある 7 名の入居者の生活支援に当たった。支援に当たっては、家族や関係機関との連携を丁寧に行った。月 1 度の職員会の他、事業所内研修、事業所外での研修にて職員養成に努めた。避難訓練を定期的に行った。入居者同士が助け合い取り組む避難訓練の取り組みは、防災の専門誌で取り上げられた。 |
| 利用者数           | 11 名(年間平均)                                                                                                                                                                                                                            | 7 名                                                                                                                                                            |
| 職員数            | 7 名                                                                                                                                                                                                                                   | 8 名                                                                                                                                                            |
| (内訳)           | 施設長：1 名 (Y's ホーム ハイホー兼務)<br>サービス管理責任者：1 名(常勤)<br>職業指導員：4 名(常勤 1、非常勤 3)<br>生活支援員：1 名(常勤)                                                                                                                                               | 施設長：1 名 (Y's コート ゆい兼務)<br>サービス管理責任者：1 名(常勤)<br>世話人：4 名 (常勤 1、非常勤 3)<br>生活支援員：3 名(常勤 2、非常勤 1)                                                                   |
| 事業費の金額<br>(千円) | 19,752                                                                                                                                                                                                                                | 29,530                                                                                                                                                         |

### <助成金を頂きました>

愛恵福祉支援財団より、Y's コート ゆいの設備備品の購入のために助成金を頂きました。

周囲が気になり、なかなか作業に集中することができないことがあります。そういった時に落ち着いて作業できるように、パネル付きの机と、広々と作業ができるようにテーブルを購入しました。

### <受注の仕事を探しています>

「Y's コート ゆい」では、色々な軽作業を請け負っています。座り仕事、立ち仕事問わず、また細かい作業でも、体力を使う作業でも、丁寧、正確に作業します。

職員が検品した後、納品します。訪問等の際は、職員が同行します。

(仕事例) 袋詰め、包装、シール貼り、封入、DM 等の仕分け、ポスティング、部品組み立て、清掃作業等  
(請負単価) 1 工程あたり 0.5 円～ ※作業内容により異なります。

### <Y's コート ゆい 夏の出店情報>

「坂下ゆい商店」のブローチ・ブレスレットを販売します。

|             |                                                |
|-------------|------------------------------------------------|
| 6/29 (土)    | 東京 YWCA 東日本大震災被災者支援バザー<br>(於：お茶の水「東京 YWCA 会館」) |
| 7/20 (土)    | 板橋特別支援学校 夏祭り                                   |
| 7/28 (日)*予定 | はすねロータス商店街「ザ・縁日」                               |
| 7/24 (水)    | 板橋区役所 1 階ロビー スマイルマーケット                         |
| 8/28 (水)    | ※毎月第 4 水曜日 11 時 30 分～14 時に<br>出店しています。         |
| 9/25 (水)    |                                                |
| 常設販売        | 「KURUMIRU」都庁店                                  |



Y's コート ゆい 「坂下ゆい商店」の商品の材料・道具を探しています！ ご協力をお願いいたします。

○使わなくなったアクセサリ (パールやビーズ(素材問いません)などを繋いだネックレスやブレスレット)

⇒分解してパーツを外し、洗浄して、繋ぎ合わせ、ブレスレットに仕上げます。

○牛乳パック等、飲料用の紙パック ⇒「すいとろゾウ」や紙漉きはがきの材料になります。

○ミキサー ⇒紙パックを細かい紙片にする時に使います。

## 募金活動のお礼

多くの方から温かいご支援を頂きました。  
心より感謝申し上げますとともに、ご報告申し上げます。

2018年12月1日～2019年5月31日の期間にご寄付頂いた皆様（敬称略・五十音順）

| 個人                                                          | 企業・団体・グループ                                                     | 物品寄付                                          |
|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 川口 雅美 杉本 陽子 新田 和子<br>國司 章子 楯石 和男 横川 ハナ<br>佐藤 浩子 楯石 てる子 匿名1名 | 板橋センターの事業を支える<br>クリスマスバザー実行委員会<br>募金(カフェJOYでの<br>アクセサリミニバザーより) | 市川 由美子 清水 栄美<br>小久保 久子 田口 菜穂子<br>佐々木 昭子 田中 孝代 |

寄付金合計：470,800円

## ご支援をお願いします

○NPO 法人東京YWCA福祉会の会員になる⇒屋台骨である、組織を支えることに繋がります。

- <会員の種別> ☐正会員(個人) 年会費 3,000円  
☐正会員(団体) 年会費 5,000円  
☐賛助会員(個人・団体) 年会費 1口2,000円

※正会員は、総会における議決権があります。  
※会員は、年度制です(4/1～3/31)。

<入会方法> 入会申込書の提出と、年会費のお支払が必要となります。  
事務局までお問合せください(TEL 03-5914-1854)

○寄付をする⇒障がいのある人々の「働く」と「暮らす」を支援する事業を支えるために、  
ご寄付のご協力をお願いいたします。

<方法> 【現金】 事務局(東京YWCA板橋センター内)にてお受けします。

【銀行振り込み】 ・東京信用金庫 志村支店(普) 4062567  
・三菱UFJ銀行 志村支店 (普) 0194008  
・ゆうちょ銀行 10010 31108311

お振込みの前に、  
寄付申込書をお送り頂くか、  
ご一報くださいますよう  
お願い申し上げます。

口座名義：「特定非営利活動法人東京YWCA福祉会」

トクヒ) トウキョウ ワイダブリューシーエー フクシカイ

\*お振込みの場合、払込時の控えをもって領収証に代えさせていただきます。

寄付金控除制度の活用をお考えの方は、**お申し込みの前に**事務局までお問い合わせください。

○「カフェJOY」で食事をする・「坂下ゆい商店」の商品を買う

⇒Y'sコート ゆい 利用者の工賃額の向上につながります。

## コラム『一粒の麦』

先日「原稿を書いて」との依頼を受けました。さて、何を書いたら良いのかとしばし悩みました。

私がYWCAと関わりを持たせていただいた初めは「東京YWCAキッズガーデン」の立ち上げの時と記憶しています。早いものであれから20年ほど経ってしまいました。当時「キッズ」に通っていたお子さんたちはすっかり大人になられ今「Y'sホーム ハイホー」で親元を離れ生活しています。

当時、気になる課題を抱えている子どもたちが、その子らしく人と楽しく交流できるようになるには、どうすれば良いのか？手のかかる子どもを育てている親御さんたちが、少しでも子育てを楽しめるようになる為に「キッズ」で出来ることは何かと考えていたと記憶しています。そして、「Y'sコート ゆい」・「Y'sホーム ハイホー」ができ、作業所として、グループホームとして、ゆっくりではありますが、利用者の皆さんが充実した日々を過ごしていられ姿が見られるようになって良かったなと思っています。

「場」(キッズ・Y'sコート ゆい)が人々の出会いを作り、家族以外の人々との出会いが皆さんの成長に役立っていると思えます。

私自身も「Y'sコート ゆい」と「Y'sホーム ハイホー」の皆さんに出会えたことで成長させて頂き良かったと感謝いたしております。

(理事 楯石てる子)

